

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	YK	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	3 年	派遣国	マレーシア
派遣大学	マレーシア科学大学		
期 間	2024 年 9 月 28 日～ 2025 年 8 月 3 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (23000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	25000 円	自炊、外食
学用品購入費	3000 円	教科書
交通費	5000 円	主に Grab とバス
交際費	10000 円	
その他	円	

合計

80000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ペナン島はマレーシアの中で二番目に大きい都市ということもあり、治安は良いと思います。スリやひったくりをされたという友人は見かけませんでした。しかし友人がスマートフォンを落とした際は落としてすぐに戻ってきたのにも関わらず、盗まれていたため注意は必要だと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(120,000) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	不明		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(10,000) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**Penang / Gelugor**)

USM は Grab で空港から 15 分ほど、ジョージタウンからは 20 分程で、ちょうど空港とジョージタウンの中間地点にあります。バスで移動することも出来ませんが、Grab の倍、もしくはそれ以上の時間がかかります。

大学周辺にはマクドナルドやケンタッキーなどのチェーン店に加え、屋台も充実しており、さらに Lotus's という大型スーパーもあるので日常生活には困らないと思います。

また大学から Grab で空港方面に 10 分弱行った所に Queensbaymall という綺麗で大型のショッピングモールもあるのでジョージタウンまで行かなくとも買い物は基本的に済ませることが出来ます。

不便な部分を上げるとしたら大学周辺は交通量が多く、かつ横断歩道もあまり無いので慣れるまでは歩くのが大変です。歩道があったとしても基本的にガタガタです。

【学業編】

1. 大学情報

大学	マレーシア科学大学	所在地	ペナン
最寄空港	ペナン国際空港	空港からの距離	Grab で 15 分程
空港⇄大学	(Grab (15 分) またはバス (30 分弱)) *移動手段		
学生数	40000 人	留学生数	5000
学部	School of Languages, Literacies and Translation (SOLLAT) School of Management School of the Art School of Humanities School of Social Sciences School of Communication School of Distance Education (交換留学生履修不可) School of Educational Studies(交換留学生履修不可) School of Housing, Building, and Planning School of Biological Sciences School of Chemical Sciences School of Pharmaceutical Sciences School of Physics School of Computer Sciences		

	School of Mathematical Sciences School of Industrial Technology Graduate School of Business <Engineering Campus> School of Mechanical Engineering School of Electrical and Electronic Engineering School of Chemical Engineering School of Civil Engineering School of Aerospace Engineering School of Materials and Mineral Resource Engineering <Health Campus> School of Health Sciences School of Medical Sciences (交換留学生履修不可) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
--	--

学部/専攻	School of Management, School of Social Science *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。
-------	--

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		International Business Strategy		Business Communication	Progressive English
午後			Organizational Behavior		

② (3)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Cross Cultural Management	Principle of Finance	Principle of Finance Consumer Behavior	
午後		Fundamental of Public Policy	Marketing	Fundamental of Public Policy	

3. 履修内容

科目	International Business Strategy		
履修期間	Fall Semester	単位数	3
授業内容／形態	グローバル化、様々な経済危機の中で企業がどのように活動していくかを学ぶ授業 講義＋プレゼンテーション		
成績	B-		
YCU 振替予定	科目	国際経営論	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Organizational Behavior		
履修期間	Fall semester	単位数	4
授業内容／形態	組織と個人の関係のあり方や、組織内での個人の望ましい行動を学ぶ授業 講義		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	組織行動論	
	単位数	2	
	担当教員	小泉大輔	

科目	Business Communication		
履修期間	Fall semester	単位数	3
授業内容／形態	ビジネスにおいて、企業が目標を達成するために必要なコミュニケーションや、円滑なコミュニケーションが組織にどの様に良い影響をもたらすかを学ぶ授業 講義＋プレゼンテーション		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Progressive English		
履修期間	Fall semester	単位数	2
授業内容／形態	英語の 4 技能を学ぶ授業 講義＋問題演習		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cross Cultural Management		
履修期間	Spring semester	単位数	3
授業内容／形態	文化の基本的な要素が international business における意思決定にどのような影響を与えるかを学ぶ 講義＋プレゼンテーション		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Principle of Finance		
履修期間	Spring semester	単位数	3
授業内容／形態	どのようにして最小限のリスクで最大のリターンを得て、企業価値を高める事ができるかを学ぶ。 資金の時間的価値、資本予算決定、証券評価など金融の基本的概念を扱う。 講義＋ミニテスト＋問題演習		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Marketing		
履修期間	Spring semester	単位数	4
授業内容／形態	マーケティングの基本と、デジタル化社会での効果的なマーケティング方法を学ぶ。 講義＋プレゼンテーション		
成績	B＋		
YCU 振替予定	科目	2	
	単位数	マーケティング論	
	担当教員	柴田典子	

科目	Consumer Behavior		
履修期間	Spring semester	単位数	3
授業内容／形態	消費者が製品やサービスを購入する際に働く思考や感情、行動を学ぶ。 講義		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	消費者行動論	
	単位数	2	
	担当教員	柴田典子	

科目	Fundamentals of Public Policy		
履修期間	Spring Semester	単位数	3
授業内容／形態	公共政策のアイデア、概念、理論、モデルの範囲や政策作成のプロセスを学び、理論と実戦が公共政策の分野でどのようにギャップを埋めるかを理解する。 講義＋プレゼンテーション＋ディスカッション		
成績	B＋		
YCU 振替予定	科目	公共政策	
	単位数	2	
	担当教員	和田淳一郎	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

まず留学期間を半年ではなく、一年間を選んで良かったと感じています。最初の半年間だけでも学べることはとても多いのですが、一年間留学することで前期の内容を振り返り、後期の授業、生活に活かすことが出来るので、より一層留学生活が実りのあるものになると思います。自分自身、授業においては前期にあまり専門的な科目を取らなかったことを後悔したため、後期には授業数・授業の難易度どちらも上げました。自分へのハードルを上げた分、勉強が辛い時も多々ありましたが、自分の中で専門科目を英語で履修する時の勉強方法が板に付き、授業終盤の頃にはスラスラと内容が入って来るようになりました。

また生活面では、イスラム教が国教の国という事もあり最初は日本と大きく違う生活様式や習慣に戸惑い、不安やストレスを感じていました。日本人が驚くような具体例を挙げるとするならば、トイレがいつでもびしょびしょな事、横断歩道がないことが多く、車のすれすれを通り抜けながら道路を渡る事、食べ物がほとんど辛い事などです。他にもカルチャーショックを受ける要因になるものは沢山ありますが、だいたいこの三つの影響が大きいと個人的には思いました。USM だけの面で言えば、留学生の履修登録が紙であり複雑なプロセスを得ないと履修登録出来ないといった事もあります。留学当初はこれらの問題が悩みの種であり、気分が下がる主な原因ですが、時間が経つにつれてこれらの問題で気分を左右されることはほとんど無くなっていきました。正直に言ってしまえば、これらの問題は自分自身でどうにかして解決出来る問題ではないので、受け入れる姿勢が重要だと感じました。また生活するにつれ良い点も多く見つかるようになるため、まさに住めば都ということ留学を通して身をもって実感しました。

また、マレーシアに留学をして現地の生活に飛び込み、現地の人と会話することで多文化共生は表面的であることに気づきました。マレーシアには大きく分けて、マレー系、中華系、インド系の三つの人種がいて、同じ国の中で暮らし、大学の中にもいろいろな人種が集まっています。しかし、そこで大学の入学定員が人種ごとに決められており、マレー系が一番多く入ることが出来る仕組みになっているというマレー人優遇政策を知り、驚きました。さらにマレー系以外（中華系、インド系など）は学部もマレー系に比べ選びづらくなっているらしく、この政策に対して少なからず不満を持っている友人もいたため、この政策が本当に最適なものなのか、お互いの人種に対して不満を持っている状況は、異なる民族が共生していると言える状況なのかという様な疑問を持ち始めました。Fundamentals of Public Policy の授業でこういった社会構造の課題に対する見解などに触れましたが、学べば学ぶほど自分の中で、こういった人種に関わる問題が複雑であり、かつ絶対的な解決策が見つからないという結論になってしまいました。私自身、こういった社会課題に対しての知識が浅いためこの様な考えに至ってしまっているのですが、答えを出すことがゴールという訳でも無いと思うので、これからもこういった課題に対して考えることを続けていきたいと思いました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

一年間の留学を通して、いい意味で生きるハードルが低くなったと感じます。留学に来る前は留学することをはじめ、休学、留年など大学を四年きっかりで卒業しないことに強い抵抗感を抱いていました。留学も自分で決めたことですが、日本の一般的なルートから外れた人生を送ることを恐れて留学に行く前から留学から帰ってきたことの心配をしていました。しかし、マレーシアに行き、現地の人や留学生と関わる中で、自分と全く違った大学生活の仕方や生き方、それに加えてマレーシア人の暮らし方を見て、自分が考えてきた生き方以外でも楽しめることを知りました。どの生き方が正解というのは無いと思いますが、少なくとも自分の選択に抱いていた恐れは恐れるに値しないくらい小さいことだと分かり、将来に対する気持ちが少し楽になった気がします。また、イスラム教がメジャーな国ということで文化の面で学ぶことが多くあり、相手の持つ宗教や文化的習慣へのリスペクトがいかに重要かということを実感しました。日常生活の中で分かった文化に対する気づきや学びを忘れずに、将来様々な国の人と仕事やコミュニケーションをする際に役立てて行きたいと思いました。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学中、特に最初は思ってもいなかったトラブルが起こることが多いので、事前に対策しておけるものは対策しておいた方が留学初期の不安やストレスは減らせると思います。(クレジットカードを一枚しか持ってきておらず、留学初期にそのカードを ATM に吸い込まれてお金を下ろす手段がなくなってしまった友人がいました。)

また、留学に行った際には行動に移してみるということを大事にして欲しいと思いました。自分自身の話になりますが、行動に移して見ることに對して、満足と後悔の両方を感じています。自分がやってみたいことに對して実際に行動に移せた事もありましたが、一方で不安であったりネガティブな感情から行動に移せず、今現在後悔している事もあります。満足感と後悔を両方実感しているからこそ、行動に移せなかった後悔をより強く感じています。一歩踏み出してみれば変わることもよくあるし、もし行動に移した後にうまく行かなくても、自分から行動を起こせたという事実は残るので後々の自信にも繋がると思います。なので自分に自信が無い人こそ何かやりたいことを実現させるために、思い切って動いてほしいと留学を通して思うようになりました。

もし留学するかどうか迷っているとしたら、一人ではなく、何人かに相談して、色々な意見を聞いた上で自分自身で決めるのが良いと思います。何か迷うことがあれば、私からも何かしらアドバイスが出来ると思うので気軽にご連絡ください。